

第1回
東大阪市新水道ビジョン懇話会

(仮称)
東大阪市新水道ビジョンの策定について

令和2年(2020年)2月20日
東大阪市上下水道局



MONOZKURI CITY

HIGASHI-Osaka

WHERE THE ANSWER IS



(仮称)東大阪市新水道ビジョンの策定について

1. 現行の東大阪市水道ビジョンについて
2. (仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の背景
3. (仮称)東大阪市新水道ビジョンの位置付け
4. 新水道ビジョン懇話会の趣旨・概要・運用について



(仮称)東大阪市新水道ビジョンの策定について

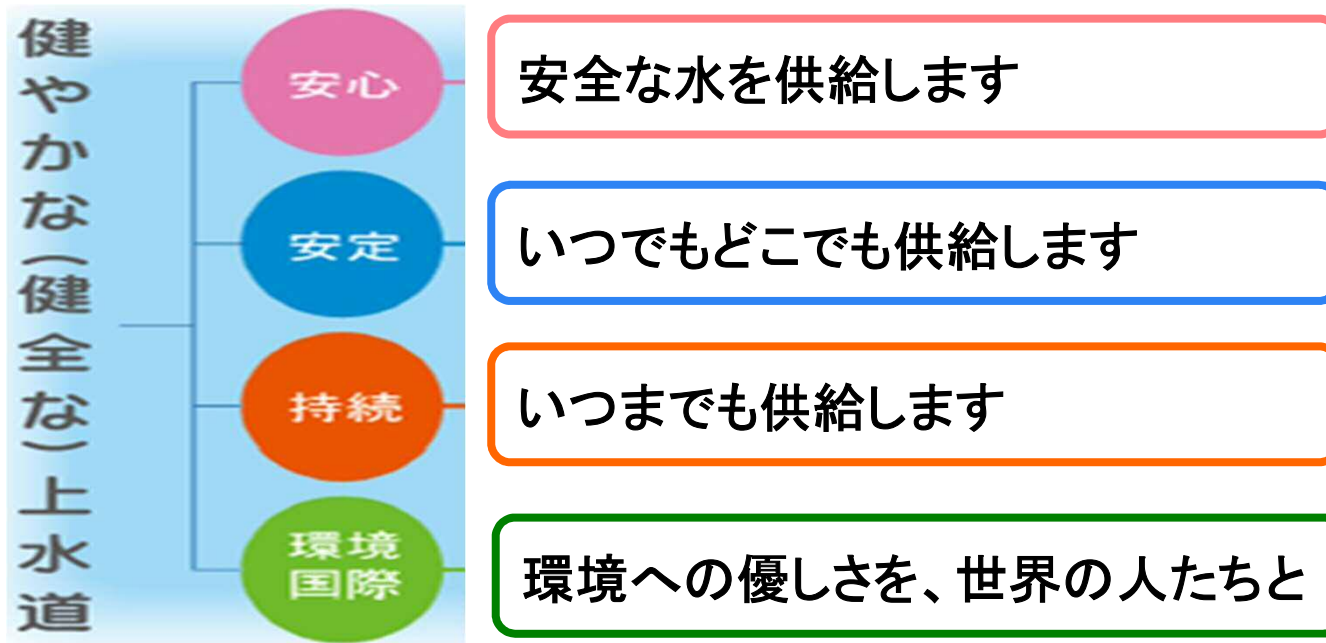
1. 現行の東大阪市水道ビジョンについて
2. (仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の背景
3. (仮称)東大阪市新水道ビジョンの位置付け
4. 新水道ビジョン懇話会の趣旨・概要・運用について



現行の東大阪市水道ビジョンについて

東大阪市水道ビジョン(計画年次H20~R2年度)

「健やかな(健全な)上水道」の実現に向けて長期的な視点での指針及び取り組みの方策を示したもの



東大阪市上下水道局

H20年度

ビジョン
13年間

R2年度

新ビジョン
R3年度~

令和3年度
以降のビジョン
の策定が必要



現行の東大阪市水道ビジョンの取り組みについて

目標	施策	進捗
【安心】	浄水方式の変更	◎
	水質監視システムの強化	○
	鉛製給水管の解消	○
【安定】	水道施設の耐震化	○
	自家発電設備の整備	○
	基幹施設連絡管路等の整備	○
	応急対策の充実	○
【持続】	送配水システムの改良	○
	計画的な更新	○
	人材確保と技術継承	○
	効率的な事業運営	○
【環境】 【国際】	経営の健全化	○
	受水圧の有効利用	◎
	水資源の有効利用	○
	国際貢献・国際交流	△

[進捗評価] ◎:取組達成、○:取組継続中、△:未実施

配水池の耐震化



水道管の耐震化



(仮称)東大阪市新水道ビジョンの策定について


1. 現行の東大阪市水道ビジョンについて
2. (仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の背景
3. (仮称)東大阪市新水道ビジョンの位置付け
4. 新水道ビジョン懇話会の趣旨・概要・運用について



(仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の背景

水道事業は、税金ではなく、お客さまにお支払いいただいた水道料金収入でほとんどの経費をまかなう「**独立採算性**」が原則であり、事業環境の変化により、以下の課題が生じている。

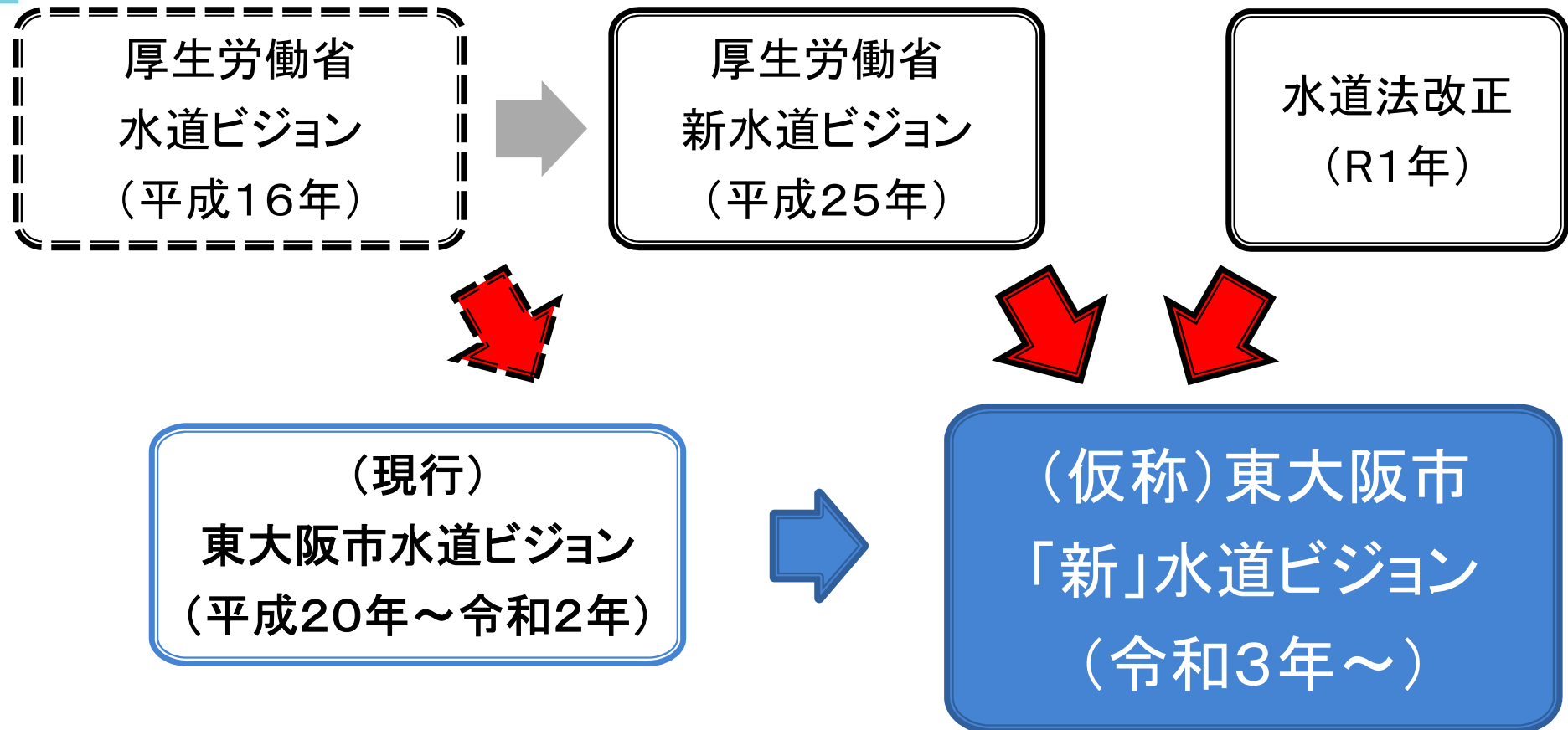
- ✓ 人口減少や節水器具の普及等に伴う水需要の減少による料金収入の減少
- ✓ 水道事業に携わる職員数の減少による人材の確保および育成
- ✓ 過去に整備された水道施設・水道管の老朽化による更新需要の増大
- ✓ 南海トラフ地震を始めとする様々な自然災害への対応
- ✓ 計画的な施設・設備更新のために必要な資金の確保

 課題を解決し、安全な水の安定供給を維持していくためには、水道の基盤強化を図ることが必要

 **新ビジョン
が必要！**



(仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の経緯



水道事業環境の変化への対応が必要！



新水道ビジョン(厚生労働省)策定経緯

2. (仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の背景

平成16年6月 水道ビジョンを策定

水道のあるべき将来像について、関係者が共通の目標を持ち、その実現に向けて取り組んでいくための具体的な施策や工程を示す。

～ 水道ビジョン(平成16年6月)の策定から8年以上が経過 ～

- 東日本大震災による水道施設の大規模な被災の経験
 - 人口減少社会の到来により事業環境が一層厳しくなる懸念
- 平成24年2月から新水道ビジョンの検討を開始

新水道ビジョン(平成25年3月公表)

【基本理念】

地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道

枚挙にいとまがない課題

- ・給水人口・給水量、料金収入の減少
- ・水道施設の更新需要の増大
- ・水道水源の水質リスクの増大
- ・職員数減少によるサービス水準の影響
- ・東日本大震災を踏まえた危機管理対策

取組みの方向性

安全
安全な水の供給

強靱
強靱な水道の構築

持続
持続性の確保

方策推進の要素

挑戦

将来の課題に挑戦する意識を持って取り組むこと

連携

関係者間の連携によって方策を推進すること

方策の推進

役割分担の明示

- ✓都道府県ビジョンの策定
- ✓水道事業ビジョンの策定

各種方策の推進(例)

- ✓アセットマネジメントの徹底
- ✓水道施設のレベルアップ
- ・施設更新、耐震化
- ✓広域化・官民連携等による組織力アップ

出典: 水道の基盤強化のための地域懇談会(第5回)平成29年9月

32

これらの内容を考慮・反映した新ビジョンの策定が求められます



新水道ビジョン(厚生労働省)の目指すべき方向性

水道の理想像

■時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道

〔強靱な水道〕

強靱

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道

〔安全な水道〕

安全

全ての国民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道

〔水道サービスの持続〕

持続

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

50年後、100年後を見据えた水道の理想像を提示し、関係者間で認識を共有

出典：新水道ビジョン【参考】(平成25年4月、厚生労働省健康局水道課)



改正水道法(令和元年10月施行)の概要

改正の趣旨

人口減少に伴う水の需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の水道の直面する課題に対応し、**水道の基盤の強化**を図る

改正の概要

- 水道事業の基盤強化(関係者の責務の明確化)
- 広域連携の推進
- 適切な資産管理の推進
- 官民連携の推進
- 指定給水装置工事事業者制度の改善

法改正内容を考慮した新水道ビジョンの策定が求められます

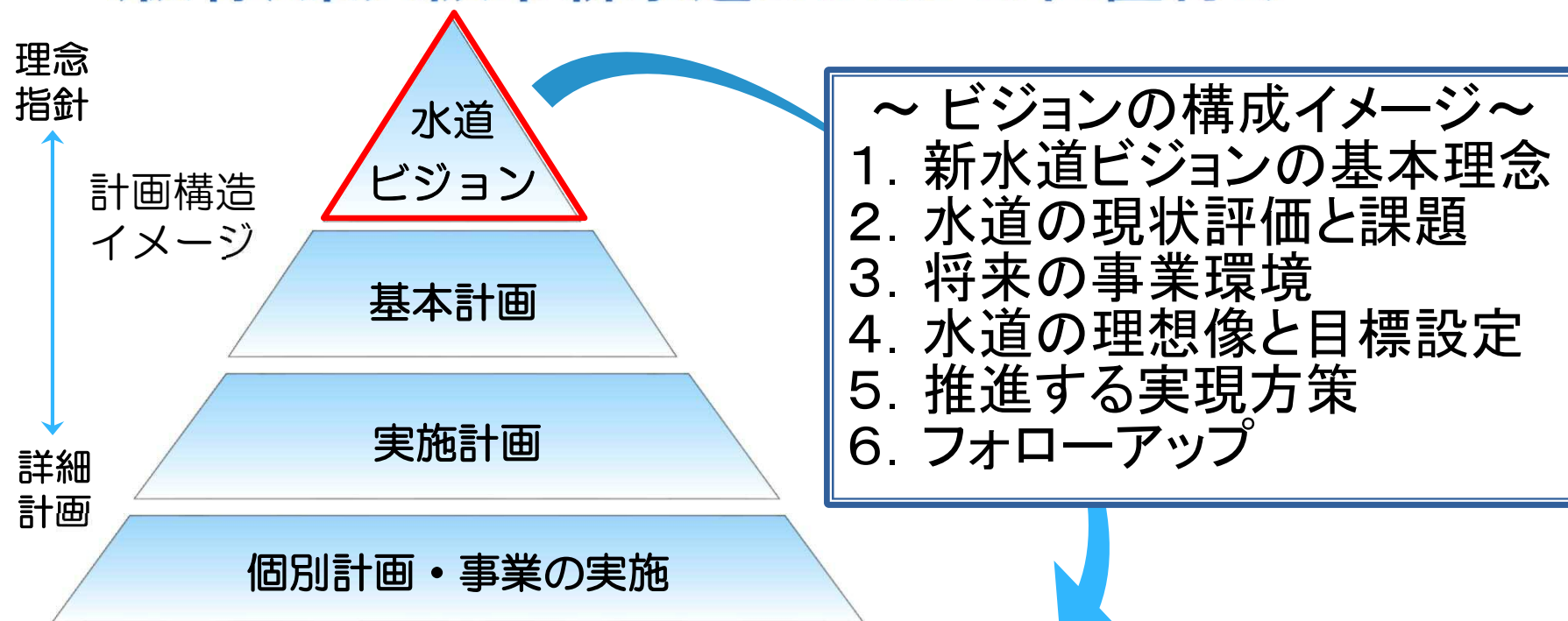


(仮称)東大阪市新水道ビジョンの策定について

1. 現行の東大阪市水道ビジョンについて
2. (仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の背景
3. (仮称)東大阪市新水道ビジョンの位置付け
4. 新水道ビジョン懇話会の趣旨・概要・運用について



(仮称)東大阪市新水道ビジョンの位置付け



(仮称)東大阪市新水道ビジョン

持続

安全

強靱

将来にわたって健全なサービスを維持できるビジョンを策定します



(仮称)東大阪市新水道ビジョンの策定に向けて

東大阪市水道事業の現状と課題

- 東大阪市の水道施設及び事業経営に関する現状評価と課題把握

■ 第1回 (R2年2月)【今回】

水道の理想像と目標設定

- 50年、100年先を見据えた東大阪市の水道の理想像の設定
- 理想像を具現化するための基本目標の設定

将来の
事業環境

推進する実現方策

- 基本目標を達成するために推進すべき具体的施策の設定

フォローアップ

- 実現方策を動かす組織体制と役割分担の設定

■ 第2回 (R2年5月予定)
■ 第3回 (R2年7月予定)

新水道ビジョン(素案)、(案)の作成

■ 第4回 (R2年10月予定)

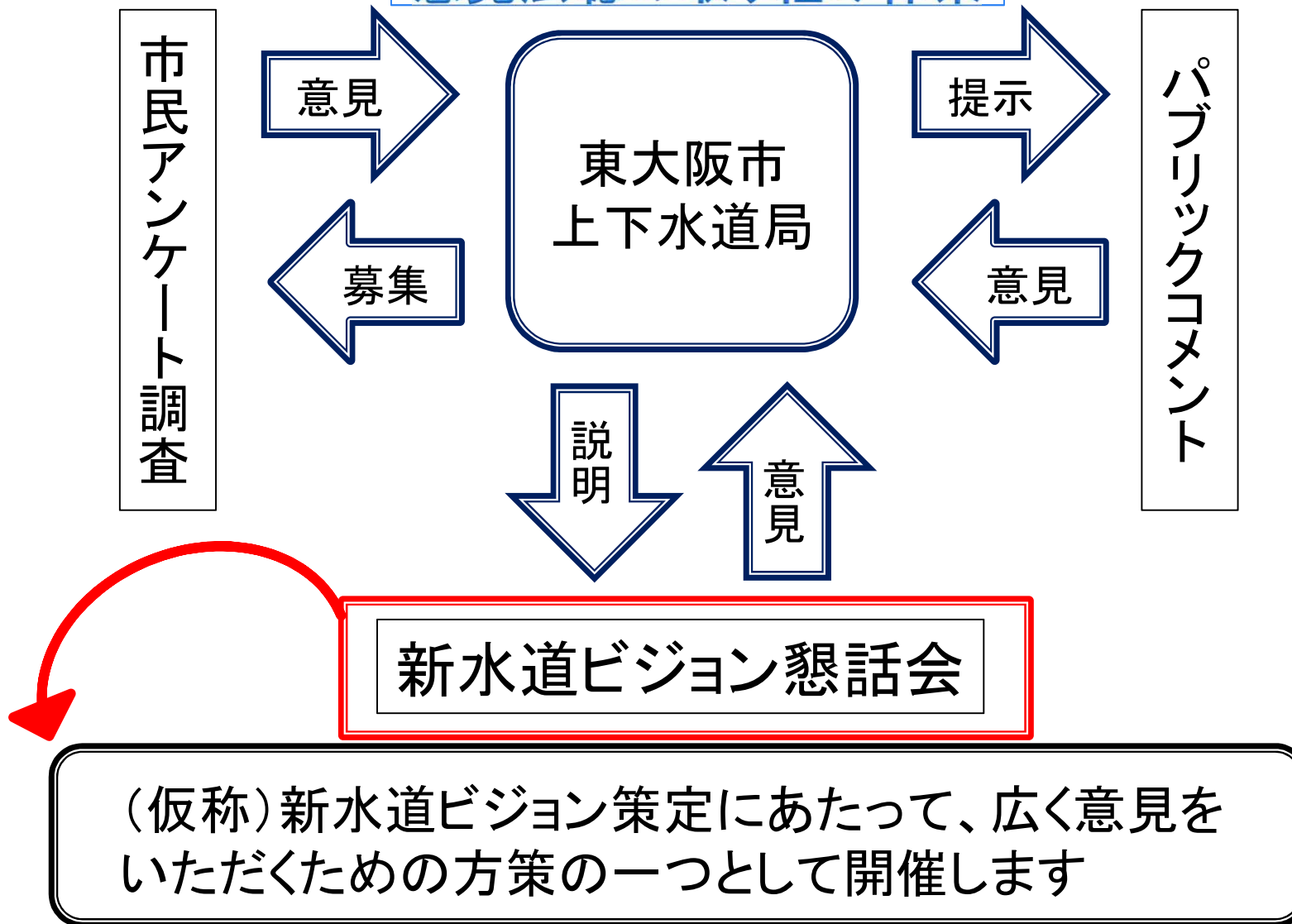


(仮称)東大阪市新水道ビジョンの策定について

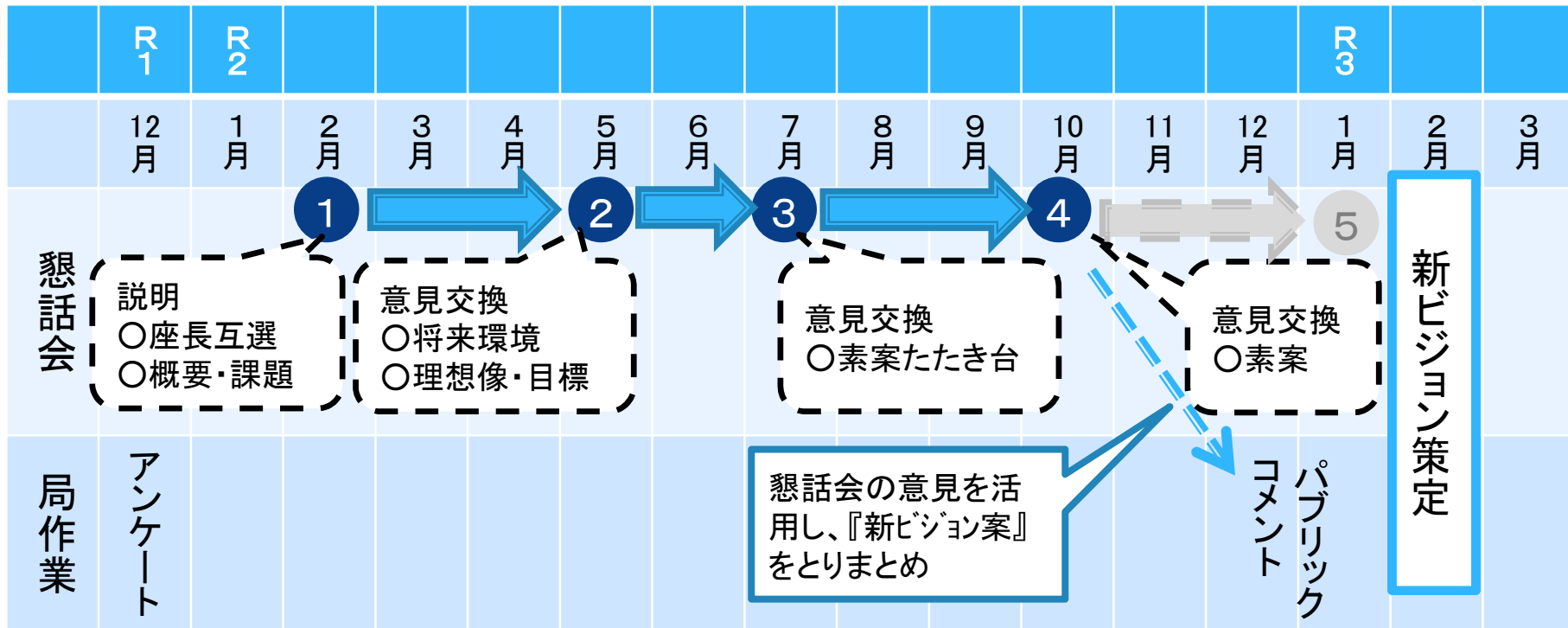
1. 現行の東大阪市水道ビジョンについて
2. (仮称)東大阪市新水道ビジョン策定の背景
3. (仮称)東大阪市新水道ビジョンの位置付け
4. 新水道ビジョン懇話会の趣旨・概要・運用について



意見広聴の取り組み体系



東大阪市新水道ビジョン懇話会の進め方について



懇話会予定開催日程及び内容

①	R2年 2月	趣旨・運営説明、本市水道事業の概要・現状・課題の説明
②	R2年 5月	将来の水需要・施設整備・経営、理想像・目標について意見交換
③	R2年 7月	「新水道ビジョン素案たたき台」について意見交換
④	R2年10月	「新水道ビジョン素案」について意見交換
⑤	R3年 1月	パブリックコメント結果を反映した「新水道ビジョン最終案」の報告(書面も想定)



ご清聴いただきありがとうございました

MONOZKURI CITY

HIGASHI-OHSAKA

WHERE THE ANSWER IS

